



奥野泰久議員

国道バイパス玉島・笠岡道路の進捗状況について

議員 全体の進捗状況をたずねる。

市長 倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方までの区間は平成26年度末の供用開始を目標に工事が本格化しており、浅口市金光町佐方から笠岡市西大島新田までの区間は地元と設計協議中で、その後、用地測量等に入る予定と伺っている。

企業誘致の体制について

議員 人脈を築く期間の重

要性からも担当職員の専門化された体制が必要と思うが、どうか。
市長 現在策定中の産業振興ビジョンの中で、企業誘致に関する体制についても検討していきたい。

血栓溶解療法（t-PA療法）について

議員 脳梗塞発症から4時間が血栓溶解療法の限界とも言われているが、これを防ぐため、発症の初期症状等を市民に啓発していくことはできないか。
市長 脳血管疾患を疑う症状や発病初期の症状を発見する方法を県や医師会と連携し、広報等を通じて普及啓発していきたいが、搬送に時間のかかる島しょ部については、特に初期対応の啓発等に努めていきたい。

笠岡ラーメンと果物で台湾からの観光客誘致について

議員 県は岡山空港台北間の定期便が週2日就航すること、観光客の誘致に動いているが、本市も一緒に動いて取り組んでどうか。
市長 岡山県観光連盟等と連携をとり、笠岡ラーメン等のグルメ情報、そして瀬戸内海の観光推進の中での笠岡諸島の観光情報、さらには本市の特産品等の情報を積極的に売り込んでいきたい。



樋之津倫子議員

地域の元氣臨時交付金の有効な活用について

議員 本市には約5千万円交付されたが、津山市約7億円等と比較してもあまりに少なすぎる。交付金申請

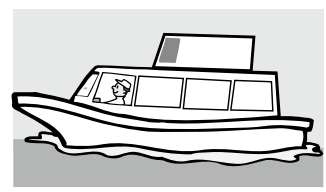
の観点と分析についてたずねる。

市長 建設地方債対象事業で当初予算に計上できなかった事業について庁内から募集し、市民要望を加味して、交通安全対策や公民館改修事業を中心に選択した。
総務部長 3月議会の補正予算で対象となる約4・6億円分の学校耐震化事業については、1・2億円相当を見込んでいたが、補正予算編成後に対象外との情報が届いたもので時期的に見直しは不可能だった。

離島の救急体制充実について

議員 離島の命を守る体制充実のために、有人7島を有する本市がいつまでも救急搬送を民間に頼るわけにいかないと思うが、今後の対策をどう考えているのか。
市長 現状の委託契約を継続することが必要不可欠であるが、救急搬送船のことも含め、他都市の状況も研

究していきたい。



認知症アルツハイマー病症状改善のために

議員 認知症の早期発見・早期治療の方法で有効な、12月議会で提案したタッチパネルの導入を再度検討してはどうか。また香りで症状を改善できるという報告を参考に、本市での利用を体制の確立と合わせ考えてはどうか。
市長 島根大学と民間の開発したタブレット版検査機器を購入予定で、予防、自己チェックに活用したい。また、香りの有効性は知られているが、広く普及には至っていない。今後研究の動向を見てより実効性のある対策を講じたい。